

横浜市立中川中学校 令和5年度 豊かな心の育成推進プラン

1. 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○生徒が主役となる学校づくりを進める中で、生徒の自尊感情を育てる教育環境を整え、「信頼」と「共感」を教育活動の根幹にします。	
○生徒が主体的に参加し、わかりやすい授業づくりを実践・推進します。	
○生徒が安心して学校生活を送ることができるように、マナーやルールに関する規範意識を高め、生活指導の充実、人権尊重の精神を基盤とする学校づくりを進めます。	
○小中一環教育を推進する中学校区ブロックや地域・家庭との連携を図り、生徒が地域で活躍し信頼される「地域の学校」づくりを進めます。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取り組み分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	人権尊重の精神をすべての教育活動の基盤とし、互いの違いを認め合い、他の人への感謝と思いやりの心を育てる。	①道徳年間計画は引き続き、見直しを続け特別な教科である道徳をより良い形で授業をできるようにする。 ②基本的な柱である Pay Forward の考えを校外にも広げられるようにする。
担当	学習指導部 (道徳人権担当)	生徒の自尊感情を育てる教育環境づくりに努める。

2. 生徒の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

比較的落ち着いた学校環境もあり、多くの生徒は素直で純朴であり、学校行事や部活動に熱心に取り組んでいる姿が見られる。しかし、与えられた課題については前向きに取り組むが、自ら課題を見つけ解決しようとする態度には課題が残る。

3. 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】～授業のつながり～

- ☆「特別の教科 道徳」において、学級担任のみならず、チームによる道徳の教科指導を実施する中で、指導内容と評価の充実を図ります。
- ・授業力向上のため、全学級の「特別の教科 道徳」の授業を、年1回以上家庭・地域に公開します。
- ・採択された教科書の教材の中心とし、生徒の発達段階や特性を考慮しながら適切な教材及び資料の開発や活用を積極的に推進します。
- ・「特別の教科 道徳」の指導の中で、議論する場面やロールプレイをより多く設定し、様々な価値観を認めることを基本とした指導を心がけます。また、道徳ノートとファイルを、年間を通して使用し、道徳の授業の評価資料として生かします。
- ・道徳教育全体計画別様の職員室内掲示をし、年間を通じ各教科、総合的学習の時間、学校行事などとの関連において意識的な道徳教育がされたかチェックをしながら道徳教育の推進をします。

【項目 人権教育】～人のつながり～

- ☆「Pay Forward」の考え方を基に、生徒会や学校行事とタイアップし、ぬくもりのある学校風土作りを目指します。
- ・人権教育や福祉学習を充実させ、「ともに生きる」生徒の育成を目指します。
- ・人権作文に全校で取り組み、生徒の人権意識を高めます。
- ・「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を利用しながら、子ども一人ひとりを認めるとともに、自尊感情を高め、他とのかかわりの中での自分の生き方を考える人権教育を推進していきます。
- ・「Y-P アセスメント」の支援検討会の実施により、学級課題の改善や子供の個人の課題の改善に向けて校内の指導体制を整え、「だれもが」「安心して」「豊かに」過ごすことのできる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにします。

【項目 様々な教育の場の連携】～学びの場のつながり～

- ・中川の時間において、朝読書の時間を設定し、読書活動を通して豊かな感性や情操を育くみます。
- ・合唱活動及び合唱曲「群青」を通して、望ましい人間関係の構築と東日本大震災被災者の想いを伝統として受け継ぎます。
- ・「個別的教育支援計画」の作成を行うとともに、多様な学びの場を整備し（サポート教室の利用）、柔軟な選択ができるようにすることを通して、一人ひとりの教育的ニーズに応え、持てる力を十分に伸ばしていけるよう支援します。